

令和5年度 第2回 可美中学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和5年8月29日(火) 13時30分から15時50分まで
- 2 場 所 可美中学校 3F CSルーム
- 3 出席委員 小野田和弘 小野田康弘 岡本眞理 和田剛 牧野源太郎
(敬称略) 見野大輔 川原眞美 出野眞未
- 4 欠席委員 中村精志 中村淳子
- 5 学 校 北村健治(校長) 池野弘昭(教頭) 中村里恵(教務)
與五沢智宏(CS主任) 中川将大(CS担当)
増井隆一(教諭) 大杉友哉(教諭) 野村恵莉香(教諭) 永田隆介(教諭)
坪井優祐(教諭) 村木啓輔(教諭) 米川拓朗(教諭)
鶴田法子(CSディレクター)
- 6 教育委員会 鈴木陽子(教育総務課)
- 7 傍 聴 者 土屋(可美協働センター長)
- 8 会議録作成者 CSディレクター 鶴田法子

9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、多くの委員から小野田会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

～進行を 小野田議長に交代～

10 1学期の活動報告

(1) 野外活動(永田教諭:資料1)

金時山登山まで雨は何とかもった。

キャンプファイヤーはできずキャンドルセレモニーになった。

来年はキャンプファイヤーをさせてあげたい。

金時山登山は、脱落者なく全員で登りきって下山できたことが一番良かった。

みんなで励ましあって頑張る姿が見られた。

時間の意識ができていた。学校生活にも繋がっている。成長が見られ大成功。

(2) 修学旅行・修学旅行テーマ探究報告会(米川教諭:資料2)

実行委員は令和4年10月から半年かけて活動。

コロナが5類になるかならないかのタイミングで大変だった。

2泊3日。集合時は雨が降っていたが、移動中の車内は雨、活動中は晴と天候に恵まれた。

コロナが5類になって初めてパーティション無しの食事、マスクは任意の活動。

小学校6年生の修学旅行もコロナ禍だったので初めての体験となった。

初 日: 学年全体行動

2 日目: 4人グループとなってタクシーにて研修

3 日目: クラスごとの活動

学びを修める旅行ということで、タクシー研修の時にひとり1つのテーマを決めた。7/10に修学旅行テーマ探究報告会を行った。一人1台のタブレットを使ってレポートを作って発表した。

〈小野田康弘委員〉報告会を見学した。工夫してやってたように思う。

自分の感想、何を訴えたいのかという報告もあった方がよかった。

(3) 「命について考える」集会（池野教頭：資料3）

校長の紹介で、中高生に人気のある、小説家 いぬじゅんさん 講演会。

前の週の給食の時間に、校長先生が朗読し雰囲気作り。

いぬじゅんさんは、柔らかい口調で、「死」がテーマの話。

いぬじゅんさんは介護士で「死」を身近な問題として捉え、生き方・考え方を学んだ。

生徒にはアンケートを書いてもらったが、感じ方はそれぞれ違った。

命について考える良い機会になった。

中日新聞社の取材もあり、記事として掲載された。



(4) シツクリプロジェクト「エンジン」（與五沢教諭：資料冊子P28）

ヤマハ発動機、浜松磐田信用金庫、エンケイ、中部電力

県内有数の企業の方から説明を受け、地域の資源と上手く組み合わせて

新しい「モノ」を企画・計画し製品を作っていく。（冊子P12,13参照）

〈小野田議長〉発端（スタート）を知りたい。

〈北村校長〉 企業の一員となって、企業の強み・弱みを知って何かを作り出していくキャリア教育。

選ばれた生徒は静岡カップに参加して、企業の役員の前でプレゼンする。

人前に出て自分の考えを述べるためにも1年生の職場体験は重要。

〈永田教諭〉 初めは様子を捉えきれなくて模索しながらだった。

1学期の終わりに企業の方が来た時、生徒の表情や姿勢に少しずつ意識が出てきた。あと2回あるのでブラッシュアップしていく。今後が楽しみ。

〈池野教頭〉 参加企業の中には製造業などいろいろあるが、今回はこちらで割り振った。募集して割り振る形も今後は考えていく。

自分で企業を選ぶ、話を聞いてみたい企業に行ってみる。

〈永田教諭〉 希望が重なったり、企業に定員があることも考えられる。

生徒の希望を聞くことも大切かと思う。

12/9（土）の学校公開日に発表会を行う。

- 〈岡本委員〉 中学生にいろいろな職業があることを教えるいい機会になっている。
独身の時にヤマハの家具プロジェクトに配属された。
家具作りやモノづくりをゼロから立ち上げるプロセスはいい体験になった。
中学校の中で体験できるのは良いことだと思う。
- 〈北村校長〉 4つの企業が来るのを仲介しているのが「シツクリ」
学年費からテキスト開発のための費用を出している。
企業からもテキスト代として費用を出してもらっている。
企業側はZ世代の子どもたちがどんなことを考えてるのかを知りたい。
可美中学校の生徒は積極的に関わってる。
- 〈和田委員〉 企業にとってはインターンシップと同じ考え方。
企画・提案しての参加は、子どもたちが仕事にふれる機会が与えられ良い
と思う。
ヒト・モノ・カネ・コト の考え方として、モノを売ることが頭打ちとな
ってる今、モノ→コト 発想を売る時代になってる。
- 〈小野田議員〉企業も努力している。浜松磐田信用金庫も、企業家を育てることに力を注
いでいる。
- 〈岡本委員〉 ヤマハは工場が掛川に行ってしまったので、職場体験が難しくなっている。

(5) 職場体験（職場開拓）について(中川教諭：資料4)

- 現在、135名分くらい確保できている。
業種が重ならないよう、なるべく地元で探した。夏休み中に依頼文を作って配付。
2学期に生徒に下ろしていく。
人数制限があるので、第2、第3希望になってしまうかも知れないが、4年ぶりに実
施できることをうれしく思い、子どもたちがいい体験ができるといい

～休憩 14：35 から 14：45～

11 熟議

(1) 【全体】

ア.受検前面接指導について（與五沢教諭：資料5）

1日8名の面接官が必要なので、面接官の候補者はもう少し増やしたい。

- 〈川原委員〉 自宅向かいの望月さん。現役時代は会社で面接担当だった。協力的、温厚
〈小野田議長〉他にお願いできそうな方は？新任の中村精志さん、望月さんお願いします。

イ.やらまいか講演会について（北村校長：資料6）

令和6年1月23日 中野浜松市長講演会

1部 小野田市議、北野谷市議、藤田市議によるトークセッション。

2部 子どもたちとどんな関わり方をするのか考えていきたい。

原案を作って12月にはまとめる。

保護者の方にも来てほしい。CS委員も来てほしい。メディアや記者クラブにも当たって
みる。

〈小野田委員〉トークセッションの内容

生徒が聴いてる見てる中で進めるのは難しい。

生徒へアンケート（将来住みたい街は？生徒がどう考えてるのかなど）して、生徒の視点を持ったテーマでトークセッションを試みる。

〈牧野議員〉 生徒も交えてのトークセッションとしても面白いと思う。

〈小野田委員〉テーマはある程度決めておいたほうが進めやすい。

〈牧野委員〉 シツクリの体験と紐づけてもいいのではないかな？

〈小野田議長〉可美中を綺麗にしてもらうよう仕向ける。トイレの改修を目論む。

魅力ある学校にするために、ソフト面だけでなく、ハード面も良くしていきたい。浜松の未来を考える。

(2) 【グループ→全体】

ウ.今後の支援活動について（與五沢教諭）

「えんたくん」を使ったグループ会議

直径1mの円形の段ボールを、丸座になった4人の膝の上に置き、意見を拡散していく。

気楽にやること、よく話を聞くこと、短く話すこと、キーワードをどんどん書いていく。

テーマは「学校のためにこんな支援できるよ」

思ったことをどんどん書いていく。できるかどうかは必要ではない。何を書いてもいい。

2分で、段ボールを90度回して、人の意見に対して書き足していく。新しいアイデアがあれば加えていく。

1分で90度回す。書き足す。

1分で90度回す。書き足す。

1分で90度回す。書き足す。

1周したらフリートークでさらに書き足す。



A グループの発表（坪井教諭）

学習サポート

普段の授業だけではやりきれないことを、放課後に地域の人にサポートしてもらう。

部活動の支援。普段の日は仕事もあるので現実的ではないかもしれない。

あいさつ運動。最近は知らない人に声を掛けるのはどうかとも思う。

どうやってあいさつ運動を進めたらいいのか考えていかななくてはならない。



Bグループの発表（大杉教諭）

「つながる」がキーワード。

イベントへの参加。ふれあいサマーフェスタに総合の授業を使って出店。
部活動とのコラボ。小学生に部活動の様子を見せたり、教えたりする。
思い出作りとして、文化祭の開催。お化け屋敷やかくれんぼなど。
地域の人と一緒に防災訓練をしてみる。



Cグループの発表（村木教諭）

CS、生徒、教師のつながりが大事。

サマーフェスタのボランティアで、ゴミ係ばかりはつまらないので、楽しい部分もさせてあげる。

地域との繋がりとして、みんなで遠足に行く。

新しい夏祭り。CSバンド。コンサート。キャンプファイヤー。

小中学生につながりを持たせる。次世代に繋げる。



Dグループの発表（野村教諭）

地域も含めたあいさつ運動。PTAも参加。

校庭でキャンプファイヤー。消防署にも協力してもらおう。

P T A 清掃ボランティア。校庭西側の木の伐採。

雨漏りの件など、学校設備の改善。どういったところを直したらいいか。

地域の方々と話をする機会を作る。可美中は可美小からそのまま進級するので、初対面の人と話すのが苦手。企業説明会のような面接練習。



<池野教頭> 今回は若い先生を中心に議論できたことが収穫。

<小野田議長> 防災訓練に関しては、今年度実現できる。

6. 第3回学校学校運営協議会について（與五沢教諭）

- ・ 11月28日 13:30~15:30
- ・ 令和6年度 やらまいか講演会について
- ・ 支援活動については、絞って深めていく
- ・ いじめ対策について
- ・ 他、今後出てくる熟議すべきもの

7. オブザーバー・教育委員会から

- ・ 傍聴者 土屋様 傍聴させてもらった。和気藹々とした雰囲気だからこそいいアイデアが出ると思った。また参加させてもらいたい。

8. アンケート記入

與五沢教諭 委員の方にはアンケート記入をお願いしたい。
名札は回収して、今後は事務室で預かります。

以上、令和5年度 浜松市立可美中学校 第2回学校運営協議会を終了します。